

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年 5月 8日 (木)

2 確認箇所

瓦礫類一時保管エリアW (図1)

3 確認項目

瓦礫類一時保管エリアWの現況

4 確認結果の概要

令和3年2月、令和4年3月と福島県沖を震源とする大きな地震（いずれも震度6強）が、連続して発生しており、最近では、昨年3月にも立地町で震度4を記録する地震が発生^{*}している。

このため、令和4年3月16日に発生した地震の影響でコンテナの位置ずれ等が発生した瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）を定期的に確認してきているが、今回は、一時保管エリアWの状況を確認した。（前回確認：令和6年 4月 9日）

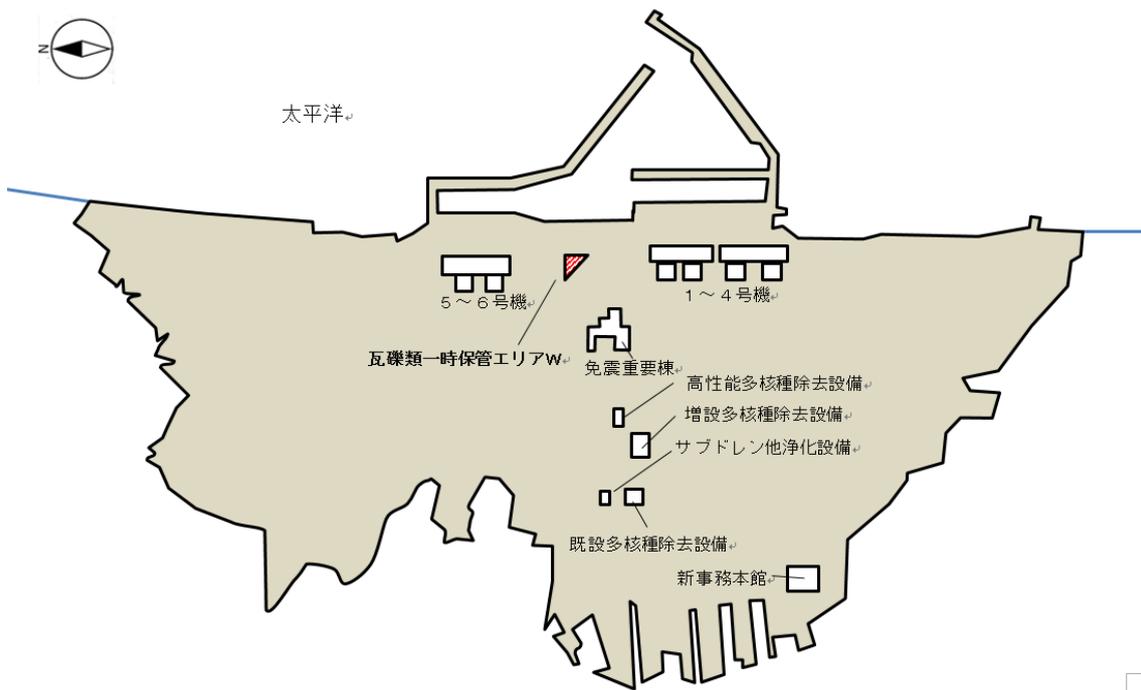
- ・コンテナは2～3段で積まれており、新たな転倒や傾き等は、確認されなかった。（写真1）
- ・一部のコンテナには耐候性のシートが設置されており、シートの破損などは確認されなかった。また、強風によるシート剥離を防止するための措置（土のう等の重しをシートの各所に配置、防風ネットの設置など）が講じられていた。（写真2）
- ・確認した範囲では、内容物の飛散や流出などの状況は確認されなかった。（写真3）

※ 令和6年3月時の福島県沖を震源とする地震の発生状況

3月13日午後 8時24分頃 マグニチュード4.7 立地町震度3

3月15日午前 0時14分頃 マグニチュード5.8 立地町震度4

3月17日午前 6時17分頃 マグニチュード5.4 立地町震度4



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
一時保管エリアW入口付近の状況
(令和4年10月24日撮影)



(写真1-2)
一時保管エリアW入口付近の状況
(令和6年4月9日撮影)



(写真1-3)
一時保管エリアW入口付近の状況
(令和7年5月8日撮影)



(写真1-4)
一時保管エリアW入口付近の状況
(令和7年5月8日撮影)



(写真2-1)
一部コンテナにおける耐候性シートの設置状況①



(写真2-2)
一部コンテナにおける耐候性シートの設置状況②



(写真3)
一時保管エリアWの奥側(東側)の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。